

令和3年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(令和2年度事業対象)

令和3年9月

能美市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和 2 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢美術工芸大学桑村佐和子先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいります。

令和 3 年 9 月

能美市教育委員会

## 目 次

1	事務の点検評価	
	施策1 学校教育の充実	
	1 教職員の資質並びに授業力の向上	4
	2 豊かな心, 確かな学力の向上	6
	3 教育支援の充実	10
	4 教育環境の整備充実	11
	5 コミュニティスクール事業	13
	施策2 青少年の健全育成	
	1 青少年教育	15
	施策3 生涯学習の推進	
	1 生涯学習活動	17
	2 公民館活動の推進	18
	3 社会教育施設の運営	22
	施策4 芸術・文化の振興	
	1 文化財の保存と活用	26
	2 博物館の活動	28
	3 文化振興	31
	施策5 生涯スポーツの推進	
	1 競技スポーツの充実・強化	32
	2 生涯スポーツの普及・振興	34
	3 スポーツ施設の整備充実	36
2	教育委員会会議及び教育委員の主な活動	
	(1) 教育委員会会議	38
	(2) 教育委員の主な活動	42
3	学識経験者の意見	44

## 施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

### 1 教職員の資質並びに授業力の向上

#### 令和2年度の主な取組

◇教職員研修事業（1,523千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、「能美市学びのベーシック事業」の指定研究校を4校から6校に拡充し、指定研究校に大学等から外部講師を継続して招聘し、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し、共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

\*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	平井聡一郎	(株)情報通信総合研究所	8月21日
浜小	学校研究 (国語)	細川 太輔	東京学芸大学	1月25日
		平井聡一郎	(株)情報通信総合研究所	11月27日
寺井小	学校研究 (算数)	高橋 丈夫	成城学園初等学校	※新型コロナウイルス 感染症拡大防止の観点 から招聘を中止
辰口中央小	学校研究 (国語)	皆川美弥子	宇都宮市立岡本北小学校	10月12日
宮竹小	学校研究 (外国語活動)	山野 有紀	宇都宮大学	1月20日
粟生小	学校研究 (理科)	松原 道男	金沢大学	7月27日
				9月23日
				11月25日
寺井中	学校研究 (授業づくり)	杉江 修治	中京大学	11月27日 2月19日

## 評価

令和2年度の市主催の夏季教職員研修講座は、GIGAスクール構想が前倒しされたことに伴い、ICTを活用した授業づくりが喫緊の課題となったことを受け、ICTを活用した授業の在り方について研修を深めることを目的に実施しました。

コロナ禍において今後授業はどのように変わっていくのか、全児童生徒にタブレット端末が整備されたときに、ICTを有効に活用した授業とはどのようなものかという教員の疑問に答える形で、講師の先生とオンラインでやり取りをしながらの研修内容は、参加者からも好評でした。小中学校教員合わせて約80名の参加者となり、今後の授業改善にICTを役立てようと高い意識をもち、参加する姿が見られました。

日常の授業改善や教職員の持つ課題に直結する研修を今後も計画したいと思います。

平成30年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」では、市内6小中学校（国語2校、算数1校、外国語活動1校、理科1校、中学校1校）を研究校に指定し、学校研究の充実を図りました。コロナ禍において、県外からの外部講師を招聘することが難しく、断念した学校もありました。しかし、オンラインで研修を行ったり、感染対策をしながら研究授業や校内研修会を複数回開催することで、学校研究を進めることができました。

今年度は県内外での研修の開催が難しかった中で、外部講師から複数回にわたり継続した指導・助言を受けることができ、各校にとっては大変貴重な機会となりました。

学校全体で授業改善の視点を確認し合い、共通の実践につなげています。また、その成果（1年間の研究内容、指導案、ワークシート等）を市内に発信することができました。

## 2 豊かな心，確かな学力の向上

### 令和2年度の主な取組

#### ◇フォローアップスクール事業（1,441千円）

能美市教育施策の大綱では，児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について，以下のように施策を進めることとしています。

変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くため，学ぶ楽しさを感じさせる教育を目指します。基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに，それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育みます。

特に新学習指導要領でも強くうたわれているように，子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育を充実させます。

本市では，フォローアップスクールという土曜日に行う補充教室を平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し，根上・寺井・辰口の3地区で地域の人材を活用し，実施しています。算数科を主として，自学自習の確立を進める中で，学習習慣の定着，学力向上を目指します。さらに，平成28年度より，学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

令和元年度から，「あいさつを進んでする」「よく考えて自分のための自分の勉強に取り組む」等「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに，学びの基本的な姿を共有し，一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに努めました。

また，参加状況，講師補充等の関係で，会場を見直し，6会場から5会場に変更しました。どの会場でも，講師のきめ細やかな見守りの中で，一人ひとりの主体的な学びを進めることができました。令和2年度は，新型コロナウイルス対策のため，開講が6月となり回数が少し減りましたが，各会場では感染症対策を実施して行っています。

\*会場 (平成28年度から) 各小学校近隣の公共施設

\*講師数 28名

\*参加児童数の推移(前期の申込状況)

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成22年度	57	42	36	135
平成23年度	47	59	49	155
平成24年度	38	53	47	138
平成25年度	39	45	42	126
平成26年度	31	28	60	119
平成27年度	27	21	25	73
平成28年度	58	32	93	147
平成29年度	36	55	40	131
平成30年度	66	56	74	196
令和元年度	39	53	58	150
令和2年度	30	37	43	110

## 評価

これまでの確実な取り組みが積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

### ・満足度調査

児童：	満足 96%	やや満足 4%	やや不満・不満 0%
保護者：	満足 96%	やや満足 3%	やや不満・不満 1%

講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の確保が難しい状況です。教員志望の大学生にも講師になっていただいたり、退職教員に声をかけたりしています。講師を確実に確保することが重要です。

### ◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,922千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのためのQUアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

- \*目的 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにQUアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。
- \*対象学年 小学校4年生～中学校3年生全員
- \*実施回数 年間2回（6月・11月）
- \*実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
平成30年度	53%	60%
令和元年度	41%	50%
令和2年度	47%	57%

### 「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
平成30年度	62%	65%
令和元年度	60%	64%
令和2年度	63%	66%

## 評価

QU アンケートの結果は学級集団の実態把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。

本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題です。特に、不登校は小学校、中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。

本市のいじめ防止基本方針においても、QU アンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

### ◇立志式 (291 千円)

14 歳の中学 2 年生が、一人の人として「志」を立て、人生の指針と強い意志を表明し、前向きに自己の将来を設計しようとする力を培うとともに、自己理解を深め、自らの意志と責任において、よりよい選択ができる力を育成するために実施します。

#### ○式典

令和 3 年 2 月 8 日 (月)

コロナ禍のため、リモート形式で 3 中学校と宇宙航空研究開発機構 (JAXA) をつないで進めた。

開会	13 時 50
記念講演	14 時 00～15 : 00
立志式	15 時 00～

能美市からの動画、校長による励ましの言葉など

#### ○場所

【第 1 会場】根上中学校 (食堂・2 教室)      【第 2 会場】寺井中学校 (体育館)  
【第 3 会場】辰口中学校 (体育館)

#### ○対象

根上中学校 2 年生	159 名	寺井中学校 2 年生	209 名
辰口中学校 2 年生	166 名	合計	534 名

#### ○講師 及び 演題

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

広報部 特任担当役 宮里 光憲 氏

演 題 「宇宙開発の今と私たちの未来」



## 評価

「はやぶさ2」が小惑星の小石を積んで地球に帰還したことが話題になっているタイミングでの記念講演でしたので、生徒にとって興味深い話でした。JAXAの方々が、失敗を繰り返し目的に向かって実現していく話は、中学生にとって、多くのことを学ぶことができた場となりました。

宇宙の開発が身近な農業や漁業、自分たちの生活にとっても役立っていることがわかり、自分の未来を想像した感想が多くありました。また、能美市からの動画では、今年20歳になる先輩からの言葉に中学生にとって将来への生き様について考えることができる内容で、とても心に響いたようです。

### ※生徒の感想

宇宙の様々な未来などやJAXAの方々の努力を知ることができました。「はやぶさ2」は「はやぶさ」から学んだことを生かして作られすごいなと思いました。宇宙開発で生活に便利なものが生まれ、すごい未来になるかもしれないと知って、わくわくしました。

また、「努力は、当たり前行動になってこそ努力」、「行動することでいろいろな夢が生まれる」ということをおっしゃっていたので、夢や目標を持ちながら、様々なことに挑戦していこうと思いました。

今日の立志式で、改めていろんな人に愛され、支えられて生きていることに感謝しないといけないなと思いました。少しでもいろんな人の役に立てるよう頑張りたい。20歳になった先輩が、今の自分の夢について語っていて、自分もあんな風に自分の夢を堂々と語れるようになりたいなと思いました。

### 3 教育支援の充実

#### 令和2年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（39,727千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や、周囲の児童生徒の学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

#### \*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成26年度	20	5	25
平成27年度	21	5	26
平成28年度	20	8	28
平成29年度	23	8	31
平成30年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27
令和2年度	21	9	30

#### 評価

特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。

市教育センター、市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視しています。月に1回、市の関係課も交えての情報交換会があります。

特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。例年、年間2回の研修会を開催しています。しかし、コロナ禍により4月に開催予定だった研修会については中止としました。その代わりに、市教育センターの相談員が各校へ訪問し、支援員の役割等について懇談を行う機会を設けました。小集団で発達障害を抱える子どもの特性や、特別支援教育支援員としての役割について学ぶことができ、支援員からは好評でした。

また、9月には実際の支援についての情報交換を行う全体会を開き、より有効な支援への理解を深めました。

市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定しています。

特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保が難しい現状があります。

#### 4 教育環境の整備充実

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

##### 令和2年度の主な取組

学校施設の安全性と機能向上を目指し、小中学校の校内通信ネットワーク整備工事や、老朽化に対応した改修工事、施設整備に必要となる実施設計等を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業	18,202 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 庇改修)	
◇福岡小学校施設整備事業	10,065 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 保健室空調取替)	
◇寺井小学校施設整備事業	18,165 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 体育館床改修)	
◇湯野小学校施設整備事業	22,611 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 体育館トイレ改修)	
◇粟生小学校施設整備事業	27,755 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 体育館トイレ改修, 駐車場測量設計業務委託)	
◇辰口中央小学校施設整備事業	24,895 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 体育館トイレ改修)	
◇和気小学校施設整備事業	8,306 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 家物置設置)	
◇宮竹小学校施設整備事業, 宮竹小学校大規模改造事業	114,447 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 建築・電気設備改修工事)	
◇根上中学校施設整備事業	28,499 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 体育館トイレ改修)	
◇寺井中学校施設整備事業	13,816 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 講堂ステージ昇降バトン取替)	
◇辰口中学校施設整備事業	15,087 千円
(校内通信ネットワーク整備工事, 集会室・家庭室照明取替)	

##### 評価

市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から40年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。

令和元年から2年度にかけて宮竹小学校の大規模改造工事を実施し、老朽化対策に加え、多目的トイレの整備や教室の個別空調化など、教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を実施しました。

令和3年度には床や壁・天井などの内装工事や遊具撤去を行う予定であり、引き続き安全安心な学校施設の整備を図っていきます。

4つの小中学校の体育館トイレについて改修工事を行いました。和便器を洋便器に取替えた他、オストメイト設備を新設し、学校の防災機能を高める予定です。

令和元年度に策定した「学校施設長寿命化計画」を元に学校の老朽化対策を計画的かつ着実に実施していきます。

## 5 コミュニティスクール事業 (6,508 千円)

### 令和2年度の主な取組

能美市の強みである「地域の力」を学校運営に生かすために、組織的で計画的・持続可能な教育活動の一層の充実を目指して、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールに取り組んでいます。令和2年度には中学校にも学校運営協議会を設置し、能美市全11小中学校で「地域とともにある学校づくり」を展開しています。

学校運営協議会では、こんな子供に育てたいという願いを共有し「子供たちのために何ができるか、どんな工夫をしていくのか」を話し合いながら、4つの活動目的をかかげて、地域全体で連携・協働し、教育活動の支援を通して参画しています。

#### ◆学校のパートナー

学校や子供の様子、学校のニーズを受け止め「どのように支援するのか、どのように課題を解決したらよいか」と目標に向かって連携・協働していくことで学校を支えます。

#### ◆地域の教育力の活用

地域の教育力を生かして、地域住民が先生になって学校教育の充実を図り、子供達の「社会で生きる力」・「学ぶ楽しさ」の向上につなげます。また、教職員が子供と向き合う時間の確保にもつなげます。

#### ◆地域と学校のかげはし

学校運営協議会が学校と地域をつなげる役割をします。学校と一体になって、組織的で持続可能な「地域とともにある学校づくり」を推進します。

#### ◆ふるさと愛の醸成

地域住民が関わる教育活動を計画的・継続的に行うことで、子供達が地域の人とふれあい、挨拶やマナー、思いやり等の人とかかわる力や知識や技能を身に付け、地域の一員であることを自覚し、「ふるさと能美市を愛する心」をもつことにつなげます。

### 評価

令和2年度は、コロナ禍での工夫した活動を行いました。朝の検温や放課後の消毒活動などに地域住民・保護者が支援を行い、学校の負担軽減を図り、また、3密を避けた活動を工夫し、バケツで稲を育てる活動や職場体験の代わりに職業人講話への講師紹介、休校で遅れた学習を取り戻すための学習支援など、各学校で協議して心のふれあい、人とのぬくもりを感じた学びを展開しました。

各学校運営協議会の代表が集まる場を持ち、少人数ながら全国の研修大会へのオンライン参加や情報交換会などを行い、最新の情報や先進地域の進んだ取組を実感するとともに、委員の見識を高める工夫を進めました。

各学校の学校運営協議会へのニーズが高まっています。多くの地域サポーターが地域の先生として学校の教育活動に参加する機会を工夫し、教育活動の充実を図りました。

コミュニティ・スクールがはじまり4年目を終えるにあたって6年児童にアンケートを行いました。「地域のいいところがわかった。」「教えてもらってできるようになった」とい

う声が多く聞かれました。

課題としては、コミュニティ・スクールの活動を多くの地域の方に認識してもらうために、地域とのネットワークを広めるために、さらに検討していく必要があります。

## 施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

### 1 青少年教育

#### 令和2年度の主な取組

##### ◇ 青少年健全育成事業（296千円）

- ・ 各種会議
  - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
  - ◇ 夏休み期間中及び、茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施  
令和2年度は茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりは新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止となりました。
- ・ あいさつ
  - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集  
490作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（9名）】  
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

##### ◇ 心の教育関連事業（234千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
  - ◇ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
  - ◇ 8月24日（月）～28日（金）を強化週間として平日5日間に開催（延べ約1,600人が街頭に立つ）
  - ◇ あいさつデー啓発ポスターは寺井中学校令和2年卒業 出口 茉莉 さんの作品を採用
- ・ 野外体験
  - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会の主な活動として、親子で自然と交わる機会を増やし豊かな心の子どもたちを育てることを目的とした親子の野外活動があります。  
令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止しました。

#### 評価

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえて

きています。

能美市のお祭り（根上七夕まつり，九谷茶碗まつり，辰口まつり）と子供たちの夏休み期間中に，パトロールを実施しています。実施中に声かけを行う場合は，時間帯の変更や，人数の見直しを検討しつつ，今後もパトロールを継続し，青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

親子野外活動は，自然と交わる機会を提供し，子どもたちに外で遊ぶことの楽しさを伝える活動です。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止しましたが，今後はコロナ対策を講じたうえで，開催する方法を検討する必要があります。

今後も，さらなる子どもの健全育成のため，親子対象のイベントを実施し，みんなで協力しながら，いきいきと体を動かすことで，たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。



### 施策3 生涯学習の推進

#### 1 生涯学習活動

##### 令和2年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2021 (131 千円)

日 時 令和3年2月14日 (日)

会 場 根上総合文化会館 根上学習センター 寺井地区公民館

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止としました。

◇寺井地区公民館施設改修事業（新型コロナ対策）(1, 355 千円)

◇根上総合文化会館施設改修事業（新型コロナ対策）(2, 994 千円)

◇根上学習センター施設改修事業（新型コロナ対策）(1, 235 千円)

◇和気あいあいの里キャンプ場施設改修事業（新型コロナ対策）(3, 531 千円)

◇社会教育施設安全管理対策事業（新型コロナ対策）(3, 362 千円)

寺井地区公民館，根上総合文化会館，根上学習センターに無線 LAN を整備し，WEB 会議や映像配信での利用を可能としました。

根上総合文化会館，和気あいあいの里キャンプ場の屋外トイレを洋式化，自動水栓に改修しました。

サーモグラフィ発熱測定カメラの導入，ドアノブ等の抗菌抗ウイルス施工することで，安全安心に社会教育施設が利用できるようにしました。

##### 評価

○まなびフェスタ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止としましたが，市民の学びの場として，また，各種地域活動への参画や地域の方々との交流を促進する機会の間となっていくことを期待します。

○新型コロナ対策

今後も安全安心に生涯学習が行える施設づくりに努めていきます。

## 2 公民館活動の推進

### 令和2年度の主な取組

#### ◇成人式(3,911千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。新型コロナ対策として、3会場に分け開催しました。

開催日 令和3年1月10日(日)

会場 根上総合文化会館 寺井地区公民館 辰口福祉会館

時間 10時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	71人	94人	75.5%
	女	89人	112人	79.5%
寺井	男	87人	121人	71.9%
	女	70人	92人	76.1%
辰口	男	88人	108人	81.5%
	女	59人	73人	80.8%
計	男	246人	323人	76.2%
	女	218人	277人	78.7%

#### ◇総合文化祭

〈展示部門〉(0千円)

○文化協会展示

○一般展示

〈発表部門〉(0千円)

○ジュニア文化発表会

○市民文化・芸能大会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止としました。

#### ◇自治公民館施設整備事業(新型コロナ対策)(6,274千円)

能美市自治公民館等施設整備補助金交付要綱において、感染症対策に要する事業に対し、補助を追加しました。空気清浄機の購入、自動水栓化にかかる費用に対して購入額の一部を補助しました。37町会・町内会が補助を活用しました。

#### ◇地区公民館・自治公民館協議会の活動(5,333千円)

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
5月17日	第16回スポーツフェスティバル in ねあがり(中止)	浜小学校グラウンド
6月上旬	花いっぱい運動	根上地区各町会
9月5日～	パソコン講座(3講座各7回)	寺井地区公民館
9月7日～	ペン習字講座(10回)	根上学習センター

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月12日	各種教養講座・趣味の教室(延期)	寺井地区公民館
6月21日	寺井地区グラウンドゴルフ大会(中止)	寺井グラウンドゴルフ場
7月12日	寺井地区クリーンデー(中止)	寺井地区
10月4日	スポーツフェスティバル in てらい(中止)	寺井小グラウンド
10月6日	家庭で出来る和菓子講座(3回)	寺井地区公民館
10月11日	寺井地区一周駅伝競走大会(中止) 寺井地区ソフトバレーボール大会(中止)	寺井地区一円 寺井体育館
12月11～13日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
3月20日	しいたけの植菌体験(中止)	寺井地区公民館
6月12日	能美市でホテルを見よう!「ホテルの観察会」(中止)	ふるさと交流研修センター
8月5日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」(中止)	辰口福祉会館
10月4日	スポーツフェスティバル in たつのくち(中止)	物見山陸上競技場

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月12日	市協議会役員会, 監査会	寺井地区公民館
2月19日	市協議会総会	寺井地区公民館
6月	春季視察研修会(中止)	
7月22日	市協議会役員会	寺井地区公民館
11月14日	秋季研修会: 能美ふるさとミュージアム(自由見学)	能美ふるさとミュージアム

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月22日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月5日	根上地区総会	根上総合文化会館
3月11日	スポーツフェスティバル企画運営委員会	根上総合文化会館
3月25日	スポーツフェスティバル実行委員会	根上総合文化会館
4月15日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月17日	第16回スポーツフェスティバルinねあがり(中止)	浜小学校グラウンド
6月上旬	花いっぱい運動	根上地区各町会
7月18, 19日	根上七夕まつり 踊りの夕べ(中止)	根上総合文化会館
11月14日	秋季研修会:能美ふるさとミュージアム(自由見学)	能美ふるさとミュージアム
11月9日	市民文化芸能大会(中止)	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月28日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月7日	寺井地区総会	寺井地区公民館
6月21日	グラウンドゴルフ大会(地区公民館と共催)(中止)	寺井グラウンドゴルフ場
7月12日	寺井地区クリーンデー(中止)	寺井地区町内一円
10月4日	スポーツフェスティバル in てらい(中止)	寺井小学校グラウンド
10月11日	寺井地区一周駅伝大会(中止) 寺井地区ソフトバレーボール大会(中止)	寺井地区一円 寺井体育館
11月14日	秋季研修会:能美ふるさとミュージアム(自由見学)	能美ふるさとミュージアム
11月9日	市民文化芸能大会(中止)	根上総合文化会館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月24日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
2月8日	辰口地区自治公民館協議会総会	辰口福祉会館
7月上旬	辰口地区役員会3地区合同での春季研修会(中止)	辰口福祉会館
8月22日	辰口地区役員会	
11月14日	秋季研修会:能美ふるさとミュージアム(自由見学)	能美ふるさとミュージアム
12月3日	辰口地区監査会	寺井地区公民館

## 評価

### ○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいますが、色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に隔たりが見られることも事実です。

今後の課題として、地区の地域性があることも事実ですが、3地区の一体化も十分精査し検討していく必要があるかと思われます。

### ○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。3地区とも各地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあります。特に辰口地区では世帯数が20に満たない町会から1,000を超す町会があります。

令和2年度、自治公民館協議会としての活動は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、ほとんど中止せざるを得ない状況となりました。今後の事業の取り組み内容もコロナ対策を十分検討したうえで、できる限り地域住民の交流を図れる事業内容に考えていく必要があるかと思われます。

また、各地区では、年々自治公民館協議会の役員選出が難しくなっています。今後、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を元気にすることが重要だと思えます。

### 3 社会教育施設の運営

#### ◇市立図書館（151,421千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

#### 令和2年度の主な取組

##### ○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。  
（根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

##### ◎利用状況（令和3年3月末統計）

- ・蔵書数：420,384冊
- ・人口：49,686人（令和3年3月31現在）
- ・登録者数：45,887人
- ・登録率（市民）：61.9%
- ・貸出者数：78,989人
- ・市民一人当たりの貸出冊数：5.3冊
- ・貸出冊数：362,243冊
- ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）：1.1回

##### ○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

##### ◎講座・講演（短歌講座・まちづくり出前講座など）

##### ◎年代に応じた児童サービス（ブックスタート・保育園や児童館などへの出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会など）

##### ◎保育園・小中学校との連携事業（小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学一年生の図書館招待・読書スタンプラリーなど）

##### ◎第3次能美市子ども読書活動推進計画（令和2年度～令和6年度）の具現化

- ・関係機関や各種団体との連携事業

##### ◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

##### ◎関係機関と連携した展示の実施

福祉課「自殺予防」・健康推進課「生活習慣病」・地域振興課「男女共同参画」  
学校教育課「道徳教科書」・環境生活課「交通安全」

##### ○ 啓発・広報事業

図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、年齢別図書リスト配布を行いました。

○ 職員研修

職員の専門的力量的向上を図るため、職員研修を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を中止

○ 安心・安全な図書館利用への対応

4月15日～5月25日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

5月26日～5月31日 時短開館 開館時間 9:00～12:00

6月1日～ 時短開館 閉館時間 17:00 (平日・休日)

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

館内の換気，サーモカメラの設置・除菌液の設置，館内除菌清掃，図書の消毒，カウンターにアクリル板の設置，閲覧席の使用制限，館内での学習禁止，AVルームなどの閉鎖など

評価

図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館内での開催事業はほとんどが中止となりました。

幅広く市民の読書要求に応える図書資料収集と興味を引く配架の工夫など読書環境を整える等、資料提供事業に重点を置き、インターネットからの予約や県内外図書館との相互利用を活用し、利用者への資料提供に努めました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館や時短開館、図書館事業中止の影響で、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも大幅に減少しました。コロナ禍の中での図書館活動について、図書館全体で方策を考えていく必要があると考えます。

◇ 根上学習センター (107,834千円)

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会、研修会、サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など、多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

令和2年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業の計画を立てて準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館措置や事業を実施する上での感染対策の困難さから、主催事業を中止したり規模を縮小したりしました。

- 1 当市には石川県に唯一落下した根上いん石があり、宇宙への興味・関心を高める機会として市内小学4年生対象の「星空・いん石学習」を実施してきました。しかし、令和2年度は「星空・いん石学習」を取りやめ、「根上隕石落下25周年パンフレット」を作成し、市内の4年生全児童に配布し、各小学校でパンフレットを活用した学習を実施しました。
- 2 保育園園児を対象にした根上図書館との共催による「プラっとお話。」、一般市民を対象

にした能美星の会会員が講師となるプラネタリウムを活用した星空教室，望遠鏡を使った星空観察会，プラネタリウムの定時投影は中止となりましたが，天文情報をお知らせするチラシを作成し，館内に設置しました。

- 3 小学生対象のおもしろ科学工作教室，ガリレオクラブ，JAXA の支援によるコズミックカレッジ等の教室，宇宙や科学により身近に体験する機会としての「サイエンスフェスタ'20」は，身の周りの不思議に気づき発見し探究する場として計画しました。しかし，新型コロナウイルス感染予防対策が十分とれないため，今年度については中止しました。
- 4 パネル等を展示して，広く宇宙や科学に興味関心を持っていただくための企画展は，開催日を限定して感染対策を十分に行い，実施しました。
- 5 研修室や学習室は感染予防のため各室の定員を減らし，利用者の手指の消毒・検温，利用後の清掃・消毒等の措置をとって各種団体の利用を進めてきました。

## 評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として，各種団体等に日常的に使用されており，今後も能美市の生涯学習施設として活用されるよう，感染予防対策をとりながら施設の運営管理に努めていきます。

今後は，定員を減らし感染対策を十分にとることで，各事業を実施します。事業内容については，主催事業企画運営委員会のご意見を頂くことで，科学や宇宙への興味・関心を育めるように内容を充実させていきます。

さらに，指導者の確保による内容の充実を努め，能美市における科学教育の推進に繋げることで，移住，定住の促進につながる魅力ある能美市づくりに貢献していきます。

## ◇根上総合文化会館（107,998 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け，利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では，市や市教育委員会の主催事業をはじめ，さまざまな催し物が年間を通して開催されています。

### 利用状況（令和2年度）

年間利用件数	1,302 件	（令和元年度	2,270 件）
年間利用者数	21,365 人	（令和元年度	97,860 人）

## 評価

市内外の企業，学校，生涯学習活動団体等から，会社説明会，展示・発表会，練習，講座を開催する際にご利用いただいています。

また，平成24年度よりこれまで2箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、多くの主催事業・他団体の利用が中止や延期となりました。「能美市アットホームタウンフェスティバル」は、能美市ファミリーコンサートのみの開催となりましたが、感染症対策を講じたうえで市観光大使のバレエ公演を開催しました。

なお、根上総合文化会館も開館して26年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫に取り組んでいます。

利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

#### ◇青少年ホーム（2,286千円）

生涯学習講座や各種サークル活動の余暇活動の拠点として利用されています。

#### 評価

近年、高齢者等の生涯学習の場として供されていますが、施設の老朽化が進んでおり、現状の維持に努めながら、市民の学習活動の場としての活用を図ります。

## 施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

### 1 文化財の保存と活用

#### 令和2年度の主な取組

#### ◇博物館建設事業（単独・継続事業・391,666千円）

令和2年秋の開館を目指して、平成30年度より新能美市立博物館（仮称）の建設工事を進めてきました。今年度は、館内の展示工事と館外の周辺整備工事を進め、無事完了することができました。6月には正式名称を「能美ふるさとミュージアム」（愛称「のみふる」）と決定し、展示品の搬入や事務所移転などの開館準備を進め、令和2年10月17日に開館記念式典を行い、ついに待望のオープンを迎えました。

「郷土の豊かな自然と悠久の歴史をとともに学び、守り、伝え、より能き美来を育む博物館」を基本理念に、何度でも訪れたくなる手作りの博物館を目指して、今後さまざまな企画展やイベントを開催していきます。

#### ◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・32,731千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の保存整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の発掘調査、保存整備工事実施設計、末寺山古墳群の土地購入、法面保護工事などを行いました。

#### ◇史跡能美古墳群保存整備事業（単独・継続事業・59,026千円）

能美古墳群の環境整備として、和田山古墳群の樹木伐採や秋常山古墳群の駐車場整備を行い、見学者の利便性向上に努めました。

#### ◇和田山・末寺山古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・37,747千円）

和田山・末寺山古墳群のさらなる保存・活用を図るため、末寺山古墳群の史跡指定地内にある墓地を移転し、公有地化を行いました。

#### ◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・8,125千円）

市内の指定文化財市を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（考古資料）西山古墳群出土品の保存処理などを行いました。

#### ◇文化財保存修理事業（単独・継続事業・539千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（名勝）七ツ滝の遊歩道橋修繕工事を行いました。

## 評価

### 【博物館建設事業】

新博物館の展示工事，事務所移転，開館準備を完了させ，無事，開館を迎えることができました。

今後の課題としては，館内の展示替えや企画展やイベントなどに工夫を凝らし，何度でも訪れたい博物館にしていく必要があります。

### 【史跡能美古墳群保存整備事業（補助）】

西山古墳群の発掘調査及び整備工事実施設計を行ったことで，今後の本格的な保存整備工事が進められるようになりました。また，末寺山古墳群の法面保護工事を行うことで，住民の安全な暮らしと史跡の保護を確保することができました。

今後は，西山古墳群の実施設計と発掘調査を進めていくとともに，保存整備工事に着手していく必要があります。

### 【史跡能美古墳群保存整備事業（単独）】

和田山古墳群の樹木伐採や秋常山古墳群の駐車場整備を行うことで，史跡公園の来園者がより快適かつ便利に古墳見学ができるようになりました。

今後は，統一的な案内板や説明板などを設置し，イベントなども企画することで，一体的な史跡としてのさらなる活用を図っていく必要があります。

### 【和田山・末寺山古墳群保存整備事業】

末寺山古墳群の公有地化が進んだことで，より確実な保存と今後のさらなる活用が行えるようになりました。

今後の課題としては，史跡指定地内で公有地化ができていない土地について土地所有者の方々との話し合いを進めていく必要があります。

### 【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業】

出土品の保存処理を行うことで，より適切な保存処置が図られるようになり，学術的にも新たな知見を得ることができました。

今後の課題としては，その成果をどのように市民へ伝えていくか，能美ふるさとミュージアムでの展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。

### 【文化財保存修理事業】

七ツ滝の遊歩道橋修繕工事を行うことで，来園者が安全かつ快適に散策ができるようになりました。

今後は，他の箇所での遊歩道修繕や説明板の更新を行い，さらなる活用を図っていく必要があります。

## 2 博物館の活動

◇教育・普及活動及び完成記念・賑わい創出事業（3,765千円）

### 展示

展示名	期日	概要
開館記念特別展「能美に伝わる信仰の世界」県指定文化財「絹本着色白山曼荼羅図」限定公開	10月17日（土）～ 12月13日（日）	「絹本着色白山曼荼羅図」を中心に、長滝経塚遺跡出土品など、能美の信仰にかかわるものを展示
能美市美術作家協会15周年記念「の・美」展	10月17日（土）～ 11月29日（日）	能美市美術作家協会15周年を記念して、協会員による、絵画、陶芸など様々な作品を展示
国際交流ひろば企画展	12月12日（土）～ 12月20日（日）	能美市国際交流協会による、国際交流とSDGsに関する展示
館蔵品展「能美ゆかりの作家たち」（前期）	12月22日（火）～ 2月21日（日）	館所蔵の能美にゆかりのある作家たちの作品を展示
能美市社会福祉協議会企画展「ありがとう！笑顔と元気のメッセージメッセージ」	2月21日（日）～ 2月26日（金）	能美市社会福祉協議会による、ボランティア団体の活動を紹介するパネル展
館蔵品展「能美ゆかりの作家たち」（後期）	2月27日（土）～ 5月30日（日）	館所蔵の能美にゆかりのある作家たちの作品を展示
春季企画展「のみふるができるまで」	3月23日（火）～ 5月9日（日）	能美ふるさとミュージアムの建設から開館までの様子を、写真や模型などを用いて紹介する展示

### イベントなど

講座・イベント名	期日	概要
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月～3月 第2土曜日 計6回開催	講師：高 剋法・高 文子（日本野鳥の会石川県支部 幹事） 合計67名参加
能美ふるさとミュージアム開館記念式典など	10月17日（土）	能美ふるさとミュージアム開館記念式典・タイムカプセル埋設・記念植樹・たいまつイベントなど
能美ふるさとミュージアム賑わい創出イベント	11月8日（日）	東京オリンピック聖火展示・市長および聖火ランナートークショー・市特産品販売・ヨガ教室など
能美ふるさとミュージアム賑わい創出イベント	12月13日（日）	クリスマスツリー展示・オーナメントづくり・能美バス乗車200万人達成式典・九谷焼ぬり絵コンテスト表彰式など

## 団体見学の受け入れ

市内小学校・・・25校	児童	1,833名
市内中学校・・・5校	生徒	904名
市内保育園・・・10園	園児	276名
市外小学校・・・3校	児童	111名

## 出前講座

3月19日（金） 能美の史跡について（緑が丘 いきいきサロン）

## 博物館友の会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動しませんでした。

## ボランティア

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動しませんでした。

## ◇調査・収集・記録事業（504千円）

### ①生物生息調査

- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（6月～9月）
- ・蟹淵水質モニタリング調査など（4月～令和3年3月）

## 評価

令和2年度は、能美市の新しい総合博物館「能美ふるさとミュージアム」の開館が最も大きな事業となりました。能美ふるさとミュージアムは、「郷土の豊かな自然と悠久の歴史を共に学び、守り、伝え、より能き美来を育む博物館」を基本理念に和田山古墳群（国指定史跡）のふもとに令和2年10月17日に開館しました。

上半期は、資料の搬入や展示、正式名称の決定・発表、印刷物作成、開館周知など、開館に向けての準備が大詰めの段階でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で準備に遅延が生じ、対応に追われることもありました。人を集めるイベントなどが行なえぬ状況下であったため、「おうちで！みんなでつくる博物館プロジェクト」と題した家庭で能美市の自然や歴史、民俗について学べるコンテンツをHPに公開し、閉館となる歴史民俗資料館のあゆみを懐かしい写真で振り返ることのできる「特別デジタル企画展 歴史民俗資料館のあゆみ」の開催もHP上で行うなどの工夫を行いました。さらに、ポスターやチラシ、広報誌、HPだけではなく、テレビやラジオ、地域情報誌や機関誌など、様々なツールで開館の周知を行いました。

開館後は、教育文化施設として、学校など教育機関の見学のみ、団体見学の対応をスタートしました。和田山古墳群のふもとという立地を活かし、古墳見学と館内見学を組み合

わせた利用も多く、より一層、能美の歴史についての理解を深めることができたと非常に好評で、多くの小中学生に来館いただきました。

加えて、保育園児の来館もあり、「低年齢の園児にもわかりやすく、楽しい展示と解説で、能美の歴史や自然に興味を持つ良いきっかけとなった」などのお声をいただいています。

しかし、指導時に密になる古代体験などの体験学習が行えないなど、当初予定していたプログラムが実施できていない部分も多くあります。

この他にも、密を避けるため、一般の方の団体対応を控えており、多くの来館者にご不便をおかけしている現状です。

しかし、能美市の魅力の発信拠点として、少しでも多くの方に能美ふるさとミュージアムを知っていただくため、「能美ふるさとミュージアム賑わい創出イベント」を開催し、密を避けつつ、博物館に興味のない方が一歩、能美ふるさとミュージアムに足を踏み入れるきっかけづくりを行っています。

また、密になりやすい体験型イベントではなく、企画展や館蔵品展を開催し、社会的距離を保ちつつ楽しんでいただける工夫を行いました。

さらに、館内に設けた「子どもミュージアム のみっけ」は0歳～12歳までが、能美市の自然や歴史、民俗をイメージした遊具で遊びながら学べる施設で、これまで博物館に来る機会の少なかった、子育て世代の利用がどんどん増えています。

こうした現状をふまえ、令和3年度には、感染症対策をしっかりと行いつつ、より多くの方に気軽にご来館いただけるよう、文化財への案内看板整備やガイダンスシステムの導入など、工夫を行ってまいります。

今後は、より多くの方に能美ふるさとミュージアムを知っていただくため、継続して「賑わい創出イベント」などを開催していきます。

あわせて、小中学生への解説も、学年ごとの学習単元の内容に合わせた解説を行い、より社会見学、遠足で利用しやすい、何度でも訪れたいくなるプログラム構築を行っていく予定です。

### 3 文化振興

#### 令和2年度の主な取組

##### ◇文化連盟・協会（3,783千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計36協会。

能美市文化協会15周年記念事業として、11月3日に「菊地幸夫氏 文化講演会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催しました。

##### ◇民俗芸能保存伝承（269千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計14団体。

#### 評価

文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。例年、文化祭や発表会などで市民の文化意識の向上を促進してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から発表の場の多くが中止や延期となりました。

市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会を設けることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第16号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行い、練習会やイベントで披露することで、伝統文化を守り伝えていきます。今後は、ウィズコロナを見据えた発表方法を考える必要があります。

## 施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

### 1 競技スポーツの充実・強化

#### 令和2年度の主な取組

##### ◇県民体育大会への選手派遣（473千円）

野々市市を主会場に開催を予定していた「石川県民体育大会夏季大会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。冬季大会は男子総合13位、女子総合5位となり、男子は昨年度に比べて順位が下降し、女子は順位を三つ上げました。

##### ◇能美市民体育大会（279千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘、育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設（一部除く）で開催する予定であった能美市民体育大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、8競技で代替え大会を開催し、その運営補助を行いました。

##### ◇第45回全日本競歩能美大会（5,923千円）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した今大会の運営費として補助を行いました。

「第15回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、また第31回ワールドユニバシティゲームズ（2021/成都）日本代表選手選考競技会として開催されました。一般の部男女の2部門のみ実施し、アジア陸上競技選手権の部は昨年につき中止となりましたが高校生の部、中学生の部は2年ぶりの開催となりました。

期 日 令和3年3月21日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース（往復1.0km）

##### ◇第63回全国銃剣道能美大会（642千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。



## 評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、夏季大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、冬季大会は男子総合 13 位・女子総合 5 位と健闘しました。

男子に順位の下降が見られましたが、次回大会は成績の向上を目指し取り組んで参ります。市民体育大会も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、8 競技が代替え大会を開催しました。

全国銃剣道大会についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

全日本競歩能美大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにアジア選手権の部を中止とし、規模を縮小しての開催となりました。

次年度は全国銃剣道能美大会、また全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取組み、もしくは令和元年度の取組みを改善し継続する方策を検討し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

## 2 生涯スポーツの普及・振興

### 令和2年度の主な取組

#### ◇ジュニアスポーツクラブ活動（2,760千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内44クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るため、毎年リーダー研修やスポーツ交流大会などを開催しておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となり、指導者の資質向上を目指す指導者研修会のみ開催いたしました。

#### ◇高齢者健康クラブ活動（485千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ85名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。

3クラブのみならず、市外の健康クラブとも交流を図るため、毎年、県の交歓大会や普及育成研修会等に参加していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

#### ◇能美市スポーツ推進委員会（1,024千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛しました。

### 評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、活動の制限やスポーツ交流大会の中止などを決定し、子どもたちの健康面を考慮した運営を行いました。指導者研修会では、アスレティックトレーナーを講師に迎え、自宅でできるケガの予防や体のセルフケアの大切さを学べる有意義な時間を過ごせました。

高齢者健康クラブについては、会員同士の交流の機会となるよう、講師指導のもと、体操やダンスを行っております。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、毎年、石川県健康クラブ交歓大会に参加し、県内のクラブとも親睦を深めております。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会について、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施することができませんでしたが、その需要は年々高まりつつあり、子供から高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。

今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいている委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

### 3 スポーツ施設の整備充実

#### 令和2年度の主な取組

##### ◇物見山総合体育館改修工事

- ・屋根改修 A=2,739㎡
- ・外壁改修 A=3,433㎡
- ・アリーナ床改修 A=1,469㎡
- ・トイレ内装改修, 洋便化 N=一式
- ・体育館, 武道館空調新設 N=一式

##### ◇物見山運動公園屋外トイレ改修工事

- ・トイレ洋便化 N=4箇所
- ・給排水管改修 N=一式

##### ◇粟生小学校夜間照明施設撤去工事

- ・夜間照明施設撤去 N=6基
- ・電気設備工事 N=一式

##### ◇根上中学校夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明改修 N=6基
- ・夜間照明新設 N=2基

◇上記工事を含め21件の工事, 13件の業務委託(実施設計等), 9件の備品購入を実施

◎改修等工事費総額 280,237千円

◎業務委託費総額 22,187千円

◎備品購入費総額 13,188千円

#### 評価

物見山総合体育館は建設当初から大きな改修は行われてこなかったため, 30年近く経過し損傷が目立ってきた屋根, 外壁, アリーナ床等について改修工事を行いました。

男女トイレは入口部の段差を解消しバリアフリー化を図るとともに, 近年の生活様式の変化に対応するため和便器を洋便器へ取り替えた他, 多目的トイレについてもオストメイトを設置することで, どなたでも安心して利用できるようになりました。

今回の改修工事で従来より幅広い年代層の方が利用しやすい環境を整備することで, 施設利用者の安全性, 利便性が格段に向上しました。

粟生小学校の夜間照明施設については, 架台等の経年劣化が進み器具落下の危険性が増してきていたため撤去し, 根上中学校の夜間照明施設については, 古くなった水銀灯6基をLED照明に取替え, 新たに2基のLED照明を設置することで夜間に使用可能なエリアを拡張しました。

今回の改修施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思いをします。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

12回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 42件 }

令和2年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
令和2年第4回 （書面会議）	<p>議案第8号 能美市学校運営協議会委員の選任について</p> <p>議案第9号 能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について</p> <p>議案第10号 能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員の選任について</p> <p>報告第2号 能美市冬季における児童の通学対策助成金交付要綱の一部改正について</p> <p>報告第3号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の一部改正について</p> <p>報告第4号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局各課事務分担について</li> <li>・令和2年度石川県教育委員会連合会定期総会【中止】</li> <li>・令和2年度市内小中学校管理職・主任等</li> <li>・令和2年度小中学校学年別人数・学級数</li> <li>・令和元年度小中学校教職員時間外勤務状況報告（3月状況）</li> </ul>
令和2年第5回 （R2. 5. 29）	<p>議案第11号 令和元年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第12号 令和2年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について（5月補正）</p> <p>議案第13号 令和2年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について（6月補正）</p> <p>議案第14号 令和2年度能美・川北地区教科用図書採択協議会規約について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（4月状況）</li> </ul>

<p>令和2年第6回 (R2. 6. 29)</p>	<p>議案第15号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第16号 能美ふるさとミュージアム管理運営規則の制定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告(5月状況)</li> </ul>
<p>令和2年第7回 (R2. 7. 30)</p>	<p>議案第17号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告(6月状況)</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告(6月状況)</li> <li>・第39回加賀地区中学生意見発表大会について</li> <li>・ふれあいあいさつデー強化週間について</li> </ul>
<p>令和2年第8回 (R2. 8. 19)</p>	<p>議案第18号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第19号 令和2年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告(7月状況)</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告(7月状況)</li> <li>・令和2年度 能美市学校訪問日について</li> </ul>
<p>令和2年第9回 (R2. 9. 24)</p>	<p>議案第20号 令和3年度から令和6年度使用中学校教科用図書の採択について</p> <p>議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第22号 能美ふるさとミュージアム条例附則の規則で定める日を定める規則について</p> <p>議案第23号 能美市博物館協議会規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川縣市町教育委員会連合会研究大会(中能登町)</li> <li>・能美市教育委員会の点検及び評価報告書について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告(8月状況)</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告(8月状況)</li> <li>・能美中学校新人大会について</li> <li>・能美市立小中学校熱中症対策について</li> <li>・能美ふるさとミュージアム開館について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>能美市誕生 15 周年記念事業及び能美ふるさとミュージアム開館関連事業について</li> </ul>
令和 2 年第 10 回 (R2. 10. 29)	<p>議案第 24 号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について</li> <li>長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9 月状況）</li> <li>小中学校教職員時間外勤務状況報告（9 月状況）</li> <li>能美ふるさとミュージアム開館状況報告について</li> <li>能美市文化協会 15 周年記念事業「菊池幸夫文化講演会」</li> <li>第 14 回能美市ファミリーコンサート</li> <li>のみふる賑わいプロジェクトイベント ～東京 2020 オリンピック聖火がやってくる～</li> </ul>
令和 2 年第 11 回 (R2. 11. 18)	<p>議案第 25 号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 26 号 令和 2 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10 月状況）</li> <li>小中学校教職員時間外勤務状況報告（10 月状況）</li> <li>令和 3 年成人式について</li> <li>歳末助け合い入札展について</li> </ul>
令和 2 年第 12 回 (R2. 12. 21)	<p>議案第 27 号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 28 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する 規則について</p> <p>報告第 5 号 能美市自治公民館等施設整備等補助金交付要綱の 一部改正について</p> <p>報告第 6 号 能美市緑町団地集会所の指定管理者の指定につい て</p> <p>報告第 7 号 能美市学習等供用施設の指定管理者の指定につい て</p> <p>報告第 8 号 能美市コミュニティ施設の指定管理者の指定につ いて</p> <p>報告第 9 号 能美市集落センターの指定管理者の指定について</p>



	<p>報告第 10 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告第 11 号 能美市体育施設の指定管理者の指定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11 月状況）</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（11 月状況）</li> <li>・歳末助け合い入札展実績報告</li> </ul>
令和 3 年第 1 回 (R3. 1. 22)	<p>議案第 1 号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「能美市教育大綱」の作成について（案）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12 月状況）</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（12 月状況）</li> <li>・小中学校の卒業式・入学式について</li> <li>・令和 3 年立志式について</li> <li>・令和 3 年能美市成人式参加者数の報告について</li> <li>・スポーツ推進計画（素案）について</li> </ul>
令和 3 第 2 回 (R3. 2. 18)	<p>議案第 2 号 教育委員の辞職の同意について</p> <p>議案第 3 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定（新入学用品費入学前支給）について</p> <p>議案第 4 号 令和 3 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第 5 号 令和 2 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒報告（1 月状況）</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（1 月状況）</li> </ul>
令和 3 年第 3 回 (R3. 3. 23)	<p>議案第 6 号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 7 号 能美市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 8 号 能美市立学校医の補充の選任について</p> <p>議案第 9 号 能美市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 10 号 能美ふるさとミュージアム管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告第 1 号 能美市新学校給食センター整備基本計画策定委員会設置要綱の制定について</p>

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2月状況）</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（2月状況）</li> <li>・令和2年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書</li> <li>・ふれあいあいさつデーについて</li> <li>・風と緑の楽都音楽祭 2021in 能美について</li> <li>・のみふる桜まつり with 辰口図書館について</li> </ul>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
R2. 4	第4回市教育委員会会議（書面会議）
R2. 5. 29	第5回市教育委員会会議
R2. 6. 15	ふれあいあいさつデー
R2. 6. 29	第6回市教育委員会会議
R2. 7. 15	ふれあいあいさつデー
R2. 7. 30	第7回教育委員会会議
R2. 8. 19	第8回市教育委員会会議
R2. 8. 24～	ふれあいあいさつデー強化週間
R2. 9. 24	第9回市教育委員会会議
R2. 9. 25	辰口中学校計画訪問
R2. 10. 1	東海北陸六県市町村教育委員会連合会理事総会・研究協議会
R2. 10. 1	石川縣市町教育委員会セミナー
R2. 10. 13	湯野小学校計画訪問
R2. 10. 15	ふれあいあいさつデー
R2. 10. 16	能美ふるさとミュージアム内覧会
R2. 10. 17	能美ふるさとミュージアム開館記念式典
R2. 10. 23	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（中能登町）
R2. 10. 28	辰口中央小学校計画訪問
R2. 10. 29	第10回市教育委員会会議
R2. 11. 4	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（小松市）
R2. 11. 6	寺井小学校計画訪問
R2. 11. 10	粟生小学校計画訪問
R2. 11. 12	宮竹小学校計画訪問
R2. 11. 13	福岡小学校計画訪問
R2. 11. 16	ふれあいあいさつデー
R2. 11. 16	根上中学校計画訪問

R2. 11. 17	寺井中学校計画訪問
R2. 11. 18	第 11 回市教育委員会会議
R2. 12. 4	和気小学校計画訪問
R2. 12. 7	浜小学校計画訪問
R2. 12. 15	ふれあいあいさつデー
R2. 12. 21	第 12 回教育委員会会議
R2. 12. 23	市町村教育委員会オンライン協議会
R3. 1. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 1. 22	第 1 回市教育委員会会議
R3. 2. 3	第 2 回県教委連「役員会」
R3. 2. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 2. 18	第 2 回教育委員会会議
R3. 2. 18	総合教育会議
R3. 3. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 3. 23	第 3 回市教育委員会会議

#### 評 価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

能美市総合教育会議では、「能美市教育大綱の改正」及び「能美市スポーツ推進計画の策定」の 2 点をテーマとして市長との有意義な協議の場とすることができ、市長と教育委員会の円滑な意思疎通を図ることが出来ました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め、市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、さらなる教育行政の推進に努めています。

報告の中には「残念ながら…」の文字が散見され、新型コロナウイルスの蔓延による影響を大きく受けた令和2年度の大変さを共感しながら拝読しました。様々な事業が縮小・変更・中止を余儀なくされ、それまでに進めてきた準備が日の目を見ないケースが多く、ご協力いただいた方々への思いも含め、本当に残念だったと思います。しかしながら、その過程にあって、今まで見えにくかった課題、あるいは気づけなかったことが顕在化したり、新たな方法を模索するきっかけとなったりするなど、私達を前進させた1年だったとも言えます。

例えば、文部科学省ではGIGAスクール構想が前倒しで進んでおりますが、能美市でもそれに対応するために小中学校の先生方が高い意識を持ってオンライン研修を受けられている姿が報告されています。新型コロナウイルスの影響がいつ弱まってくれるのか予断を許さない中で、インターネットを活用した学習への期待も高くなってきています。感染対策をしながらも、万が一のときも学校教育を継続できるようにしようとする先生方や、その先生方を支えるべく地域住民・保護者も感染対策に協力するなど学校の負担軽減を図る活動をされている姿が見えてきます。

社会教育の現場では、事業実施にはかなり厳しい状況にあったと言わざるを得ません。公民館等もそうですが、10月の「能美ふるさとミュージアム」の開館は準備段階から遅延、変更が重なったようで大変だったと思いますし、大々的なオープニングができなかったのは残念だったと思います。しかしながら、様々な媒体を通して開館の周知を行ったり、小中学校と連携するなど着実に見学者を受け入れたり、と、状況にひるまずに進んでおられることもわかります。かえって準備期間が充実したものとなったのではないかとも思われ、今後はますます能美市民に親しまれる施設となっていくことが期待されます。

様々な教育現場で、報告書には現れない場面で、担当者や関係者が判断に苦慮されたことと思いますが、社会教育の果たしてきた役割を感じることができたのではないかと思っています。例年なら利用・参加するはずだった人たちの声を受け止めていくことも今後は大切ではないかと思っていますし、今後は新しい方法や技術などを取り入れながら、今まで果たしてきたような人々の学びの場を創出する役割を私達はどのように担保し続けていくのかを考えていかなければならないと思います。その際、社会教育にはどのような価値があるのかを今一度認識し直すことで、その方向も見えてくるのではないかと、と思っています。

最近、様々な場面でSDGsという言葉をよく耳にするようになり、ドーナツ状のカラフルなバッジを身に付けている人もよく目にするようになりました。これは国連の掲げた「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」の頭文字をとったもので、2016年から2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、17項目が掲げられています。この考え方は、1987年の「環境と開発に関する世界委員会(WCED：World Commission on Environment and Development)」による「Sustainable development：

SD, 持続可能な開発」, 2002 年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」での「education for sustainable development : ESD, 持続可能な開発のための教育」の提言を受けています。このように長い時を経ながら, 私達により身近なものとなり, 様々な場面での活動を目指の實現に向けて関連付け, また私達の生活に関連付けながら, 實現を目指そうとしています。この報告書を改めて SDGs の観点から見てみると, それぞれの事業の意味を再確認させられます。今後は必要に応じて市の他部課や市内外の組織, 団体, 個人等とのさらなる連携協力も視野に入れつつ, 令和 3 年度も家庭, 学校, 地域での市民の学びへの支援が継続して行われることを期待しております。